

2024年度 町田市立七国山小学校 学校経営計画・学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

令和6年12月18日

<p>学校教育目標 感動と創造の教育 (確かな学力を身につけ、人権尊重の理念を正しく理解し心身ともに健康で豊かな心を持ち、未来を切り開くたくましい人間を育てる)</p> <p>○目指す学校像……「児童が安心して楽しく登校できる学校・保護者・地域が信頼して通わせられる学校 教職員が学び合い、支え合う学校」</p> <p>○目指す児童・生徒像……「よく考え、すすんで学ぶ子」・「思いやりがあり、協力し合う子」・「心も体もたくましい子」</p> <p>○目指す教師像……「全教職員で児童を育てる。」・「学び合う教師」・「組織で協働する教師」・「開かれた教師」</p>	<p>学校経営の重点……「だからのために自分のできることを考え、実行しよう」・「相手を尊重した異学年交流を通して～」をキャッチフレーズに掲げ、主体的に「社会形成に参画する」を担って育てる。その第一歩として、よりよい社会は何かを考える考え方を通して、課題を交流を通して、課題を解決する姿勢大切に。</p> <p>重点目標の成果と課題 保護者アンケートで84.8%の保護者が異学年交流に肯定的な回答をした。児童アンケートでも、下学年86.5%・高学年98.6%が異学年のために行動できたという肯定的な回答をした。異学年交流により、パートナーシップを意識した主体的な学びが実現できた。次年度は「わからない」と回答した保護者11.7%を減らすため、ホームページや学校だよりで発信していく。</p>
---	--

領域	教育プランに基づく経営目標	中期・短期経営目標	具体的方策	取組指標	平均	評価	成果指標	○%	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価	評価
社会に開かれた教育課程の実現	目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と共有・連携した教育課程を実施する。	家庭・地域との連携を高める	毎学期に2週間行う「家庭学習がんばりカード」を活用するとともに、宿題提出は毎日確認し家庭学習の習慣を定着させる。	4. 80%以上の指導面でも実施 3. 70%以上の指導面でも実施 2. 60%以上の指導面でも実施 1. 80%未満の指導面でも実施	100	A	4. 80%以上の児童に定着 3. 70%以上の児童に定着 2. 60%以上の児童に定着 1. 80%未満の児童に定着	77.5	B	保護者アンケートの結果から、宿題や家庭学習が「定期的に行っている」という回答は、どのくらい多いのだろうか?という点で、評定値は82.5%と高い評価を得た。毎時、1時間単位に期間限定で行うことで、毎日に定着する効果が期待できる。	毎学期の中間・期末に、宿題の定着率や、家庭学習の定着率などについてアンケートを実施し、結果を共有する。また、保護者へ提出できていない児童は、保護者へ連絡をし、協力を依頼する。	「家庭学習は増加は評価できる。今後も継続していきたい。」	A
			保護者への連絡・相談を細やかにし、迅速に対応する。	4. 80%以上の児童に定着 3. 80%以上の児童に定着 2. 70%以上の児童に定着 1. 70%未満の児童に定着	90	A	4. 保護者アンケート満足率90%以上 3. 保護者アンケート満足率70%以上 2. 保護者アンケート満足率60%以上 1. 保護者アンケート満足率50%未満	86.6	A	保護者アンケートの結果で、「もう少し早く連絡してほしい」という声が多く、迅速に対応する必要がある。	毎学期の中間・期末に、保護者への連絡・相談の件数や、保護者からの問い合わせの件数などについてアンケートを実施し、結果を共有する。また、保護者へ提出できていない児童は、保護者へ連絡をし、協力を依頼する。	「保護者への細やかな連絡に努力が見られる。HPの掲載が多く、情報共有がなされている。今後も推進していきたい。」	
確かな学力の育成	授業改善を進め、基礎的・基本的な知識及び技能の確かな習得と思考力、判断力、表現力等の育成とともに、主体的・対話的で深い学びを実現する。	迅速・丁寧な情報発信と保護者からの関心を高める	ホームページは、緊急性の高いものは迅速に、生徒日誌は各学年の記事を週1回以上更新する。	4. 8月8日以上の更新 3. 6月6日以上の更新 2. 4月4日以上の更新 1. 2月2日以上の更新	20	A	4. 保護者アンケート満足率90%以上 3. 保護者アンケート満足率80%以上 2. 保護者アンケート満足率70%以上 1. 保護者アンケート満足率60%未満	93.6	A	保護者アンケートの結果で、「もう少し早く更新してほしい」という声が多く、迅速に対応する必要がある。	毎学期の中間・期末に、ホームページの更新状況や、保護者からの問い合わせの件数などについてアンケートを実施し、結果を共有する。また、保護者へ提出できていない児童は、保護者へ連絡をし、協力を依頼する。	「HPの掲載が多く、情報共有がなされている。今後も推進していきたい。」	A
			学校評価・行事(運動会・遠足公開・MNE公開)アンケートの回収率を上げる。	4. アンケートの90%以上で取組を実施 3. アンケート回収率85%以上 2. アンケート回収率80%以上 1. アンケート回収率75%未満	100	A	4. アンケート回収率90%以上 3. アンケート回収率85%以上 2. アンケート回収率80%以上 1. アンケート回収率75%未満	42.3	D	学校評価アンケートの結果で、「もう少し早く更新してほしい」という声が多く、迅速に対応する必要がある。	毎学期の中間・期末に、学校評価アンケートの回収率や、保護者からの問い合わせの件数などについてアンケートを実施し、結果を共有する。また、保護者へ提出できていない児童は、保護者へ連絡をし、協力を依頼する。	「アンケートの回収率を上げる必要がある。」	
豊かな心の涵養	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にしようとする意欲・態度を育てる。	子どもが「考えた、わかった、発見できた」と思える授業を展開する	授業の進め方(七国山スタイル)を共通理解し、見直しをもたせ、わらわらや楽しさを明確にした授業展開を促す。	4. 80%以上の授業で実施 3. 80%以上の授業で実施 2. 70%以上の授業で実施 1. 70%未満の授業で実施	100	A	4. 70%以上の児童に定着 3. 65%以上の児童に定着 2. 60%以上の児童に定着 1. 60%未満の児童に定着	92.2	A	授業アンケートの結果から、82.2%の児童が肯定的な回答をしている。肯定的な回答をした児童は、授業で「考えた、わかった、発見できた」という声が多く、授業の進め方(七国山スタイル)を共通理解し、見直しをもたせ、わらわらや楽しさを明確にした授業展開を促す。	授業アンケートの結果で、「考えた、わかった、発見できた」という声が多く、授業の進め方(七国山スタイル)を共通理解し、見直しをもたせ、わらわらや楽しさを明確にした授業展開を促す。	「めあてや振り返りは重要であり、自分の考えをもち、表現できることが向上していることが評価できる。」	A
			「言葉の芸術」を活用し、感想や考えを伝えたりするときの語彙を豊かにする。詩や学芸会などで言葉の芸術を大切に育てる。	4. 80%以上の児童に定着 3. 70%以上の児童に定着 2. 60%以上の児童に定着 1. 60%未満の児童に定着	80	B	4. 80%以上の児童に定着 3. 70%以上の児童に定着 2. 60%以上の児童に定着 1. 60%未満の児童に定着	63.6	C	授業アンケートの結果で、「考えた、わかった、発見できた」という声が多く、授業の進め方(七国山スタイル)を共通理解し、見直しをもたせ、わらわらや楽しさを明確にした授業展開を促す。	授業アンケートの結果で、「考えた、わかった、発見できた」という声が多く、授業の進め方(七国山スタイル)を共通理解し、見直しをもたせ、わらわらや楽しさを明確にした授業展開を促す。	「詩を書く機会を増やしたり、自分で考える指導を継続していきたい。」	
健康やかな体の育成	正しい生活習慣を身につけさせ、丈夫な体とたくましい心身を育てるとともに、自助・共助・公助の力を身に付ける安全指導・安全教育を充実させる。	安全な環境を整備し、自己・他者の命や心身を守る力を育成するための全校体制を徹底する。	体力テストの結果より、授業に投げる動きを取り入れ、年間を通して全校健闘目標を設定し、持久力や投げの力を伸ばす。	4. 80%以上の児童に定着 3. 70%以上の児童に定着 2. 60%以上の児童に定着 1. 60%未満の児童に定着	70	B	4. 80%以上の児童に定着 3. 70%以上の児童に定着 2. 60%以上の児童に定着 1. 60%未満の児童に定着	74.7	B	体力テストの結果より、授業に投げる動きを取り入れ、年間を通して全校健闘目標を設定し、持久力や投げの力を伸ばす。	体力テストの結果より、授業に投げる動きを取り入れ、年間を通して全校健闘目標を設定し、持久力や投げの力を伸ばす。	「児童が安心して楽しく登校できる学校・保護者・地域が信頼して通わせられる学校 教職員が学び合い、支え合う学校」	A
			健康(食事・睡眠時間)や衛生(自ら手洗いや換気)への習慣を付ける指導を学期ごとに行う。	4. 80%以上の児童に定着 3. 70%以上の児童に定着 2. 60%以上の児童に定着 1. 60%未満の児童に定着	100	A	4. 80%以上の児童に定着 3. 70%以上の児童に定着 2. 60%以上の児童に定着 1. 60%未満の児童に定着	95	A	健康(食事・睡眠時間)や衛生(自ら手洗いや換気)への習慣を付ける指導を学期ごとに行う。	健康(食事・睡眠時間)や衛生(自ら手洗いや換気)への習慣を付ける指導を学期ごとに行う。	「児童が安心して楽しく登校できる学校・保護者・地域が信頼して通わせられる学校 教職員が学び合い、支え合う学校」	
その他	安全な環境を整備し、自己・他者の命や心身を守る力を育成するための全校体制を徹底する。	安全な環境を整備し、自己・他者の命や心身を守る力を育成するための全校体制を徹底する。	「学校のおやくそく」を守っているかを定期的に確認し、指導を徹底する。	4. 80%以上の児童に定着 3. 70%以上の児童に定着 2. 60%以上の児童に定着 1. 60%未満の児童に定着	100	A	4. 80%以上の児童に定着 3. 70%以上の児童に定着 2. 60%以上の児童に定着 1. 60%未満の児童に定着	95	A	「学校のおやくそく」を守っているかを定期的に確認し、指導を徹底する。	「学校のおやくそく」を守っているかを定期的に確認し、指導を徹底する。	「児童が安心して楽しく登校できる学校・保護者・地域が信頼して通わせられる学校 教職員が学び合い、支え合う学校」	A
			危険管理情報(健康・問題行動・安全・登校しづらみ)は毎朝を生かして迅速かつ定期的に校内で共有・対応する。	4. 80%以上の児童に定着 3. 70%以上の児童に定着 2. 60%以上の児童に定着 1. 60%未満の児童に定着	90	A	4. 80%以上の児童に定着 3. 70%以上の児童に定着 2. 60%以上の児童に定着 1. 60%未満の児童に定着	81	B	危険管理情報(健康・問題行動・安全・登校しづらみ)は毎朝を生かして迅速かつ定期的に校内で共有・対応する。	危険管理情報(健康・問題行動・安全・登校しづらみ)は毎朝を生かして迅速かつ定期的に校内で共有・対応する。	「児童が安心して楽しく登校できる学校・保護者・地域が信頼して通わせられる学校 教職員が学び合い、支え合う学校」	

<p>取組指標の評価基準(結果数値からABCD評価へ)</p> <p>取組指標平均 3.5以上 ⇒ 評価A 取組指標平均 3以上3.5未満 ⇒ 評価B 取組指標平均 2以上3未満 ⇒ 評価C 取組指標平均 2未満 ⇒ 評価D</p>	<p>成果指標評価基準</p> <p>成果指標平均 80%以上 ⇒ 評価A 成果指標平均 70%以上 ⇒ 評価B 成果指標平均 55%以上 ⇒ 評価C 成果指標平均 55%未満 ⇒ 評価D</p>	<p>学校関係者評価の評価基準例</p> <p>A⇒ 取組・成果ともに十分評価できる B⇒ 取組・成果ともに評価できるが、さらに改善したい C⇒ 目標達成には至らなかったが、次年度の改善が必要 D⇒ 重要な課題であるため、次年度、重点的に改善</p> <p>※ 学校からの十分な説明のもとに、学校運営協議会で成果と課題、改善点について協議する。</p>
--	--	--

※ 学校独自に設定する場合は、枠内を修正明記してください。